

テーマ

思春期の子どもの悩み どう関わればいい？

～ 小学生(高学年)編 ～

エピソード

なつこさんは小学5年生。いつも一緒にいるグループの一人が、同じグループの友達とケンカをしてしまいました。それ以来、一緒にいても、気まずい雰囲気になることがあり、どこかぎくしゃくしています。

なつこさんは、どうしたらいいのか悩み、家に帰って相談をしました。

ワーク1

あなたなら、相談してきたなつこさんにどんな声をかけますか。

ワーク2

なつこさんはそれを聞いてどのように感じると思いますか。

話し合いの後に、ワーク3をお書きください

ワーク3

あなたはこれから、思春期の子どもが悩んでいたら、どのように関わろうと思いますか。

## 子育てのヒント

### ポイント

- ・とにかく子どもの話を聴き（傾聴）、**正誤のジャッジをしない**。
- ・アドバイスが必要な場合は**アイメッセージ**で伝える。

### 資料

#### 思春期の特徴

- ・心も体も大人に向かう変化が見られる
- ・これまで意識していなかった自分を意識するようになる
- ・友達との横のつながりを強く意識するようになる
- ・大人の日や干渉を逃れて、秘密の場所で活動するようになる
- ・友達の気持ちに引きずられがちだが、自分の気持ちも大切にできる
- ・大人に頼りたい気持ちと、正論を言われたくない気持ちが同居した状態

#### 自立に向けて大人から離れようとする時期

自分達のグループが世界のすべてのように錯覚し、思い悩むことがある



- まずは、子どもたちの**世界を大切に受け止める**（否定しない）
- 受け止め**共感**したうえで、**子どもがどうしたいか**をさらに**傾聴**する
- 安易に大人が**答えを出さない、押し付けない**
  - ・**大人は話を聴いてくれる**ということ自体が**安心感**につながる
  - ・迷いながらも自分でたどり着けることを信じて待つ。出た答えを尊重する
- アドバイスは、**アイメッセージ「私は～と思う」**で伝える
  - ・親の気持ちを聞いて子どもがどう判断するかは、子どもを信じてゆだねる

子どもを信じて、成長を見守りましょう

- 参考文献
- ・子育てにおける子どもとの上手なかかわり方 吉弘淳一
  - ・いつだって子どもがいちばん 三浦伸也
  - ・ヒルは木から落ちてこない。樋口大良+ヤマビル研究会